

波形データ取得（LAN 経由）サンプル・ソフトウェア

V 1.1

（株）アドバンテスト

1. パソコンにサンプル・ソフトウェア U3800 LAN_GetTrace をインストールします。
（インストーラは PackageforU3800 のフォルダー内にあります）
（ソースファイルは Source(STD)にありますので Visual Basic から参照してください）

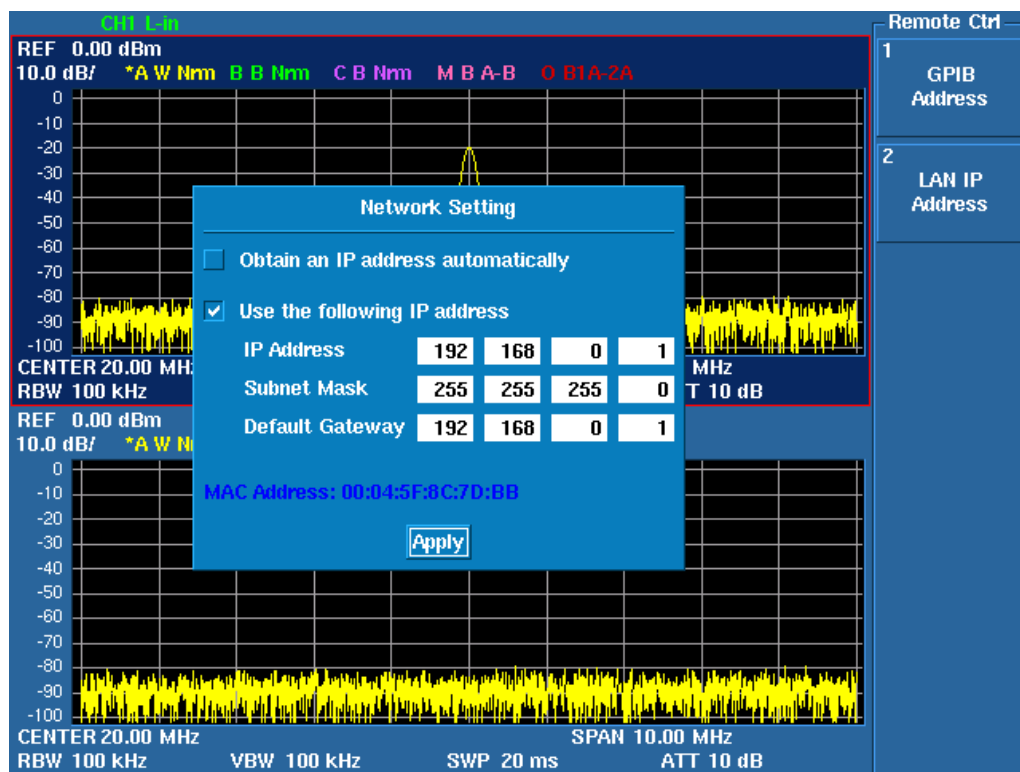
2. スペアナ U3800 の IP アドレスを設定します。

パネルキーから、SYSTEM – Config. – Remote Control – LAN IP Address

下記の例は、1 対 1 接続（ローカル接続）の場合です。

DHCP（自動アドレス取得）は Obtain an IP address automatically を使用します。

固定アドレスに接続する場合は IP アドレスをネットワーク管理者にお問合せください。



3. パソコンの IP アドレスを設定します。（1 対 1 接続（ローカル接続）の場合）
（スペアナとパソコンを両方とも社内 LAN 接続等にする場合は不要です）

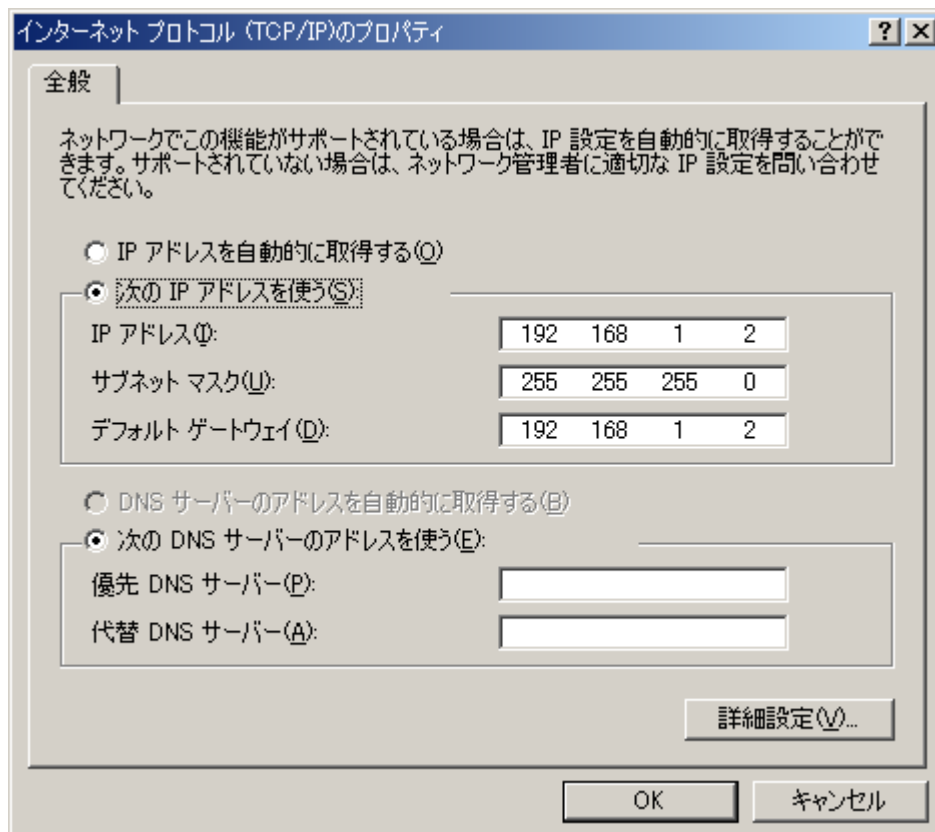
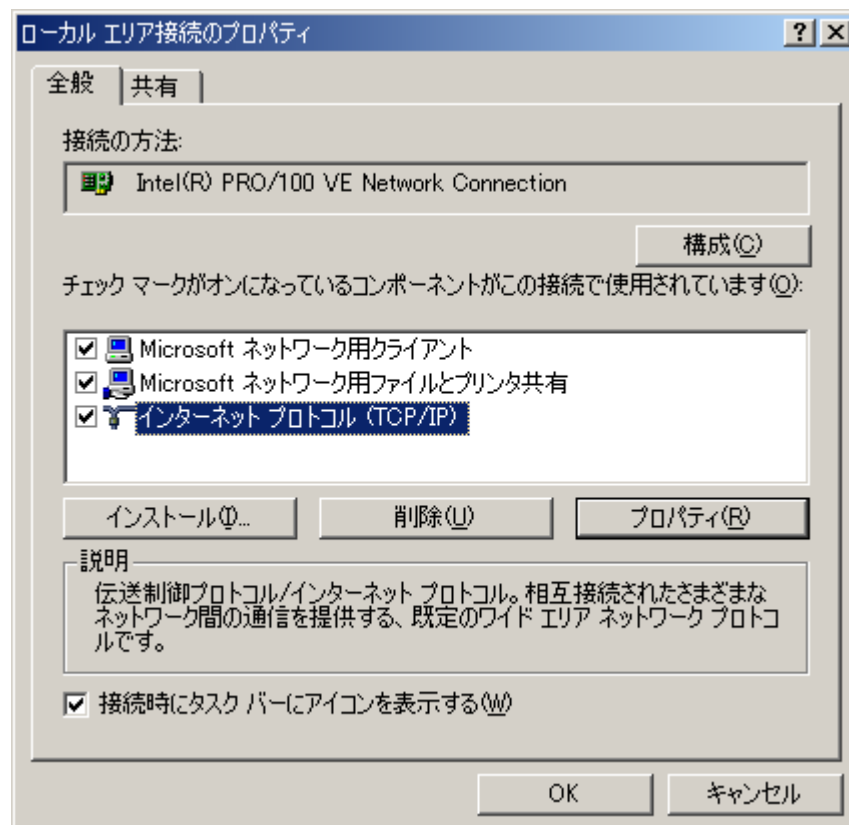
マイネットワーク（Windows2000 の場合）

- 右クリック - プロパティ
- ローカルエリア接続 - 右クリック - プロパティ
- インターネットプロトコル (TCP/IP) - プロパティ

IP アドレスを設定します。（スペアナ U3800 と違うアドレスにします）

（たとえば、192.168.1.2）

スペアナとローカル接続（1 対 1 接続）の場合は、クロス LAN ケーブルを用意します。



4 . LAN ケーブルを接続します。

社内 LAN 接続等の場合は、スペアナを社内 LAN 等に接続します。

1 対 1 接続（ローカル接続）の場合は、スペアナとパソコンをクロス LAN ケーブルで直接接続します。

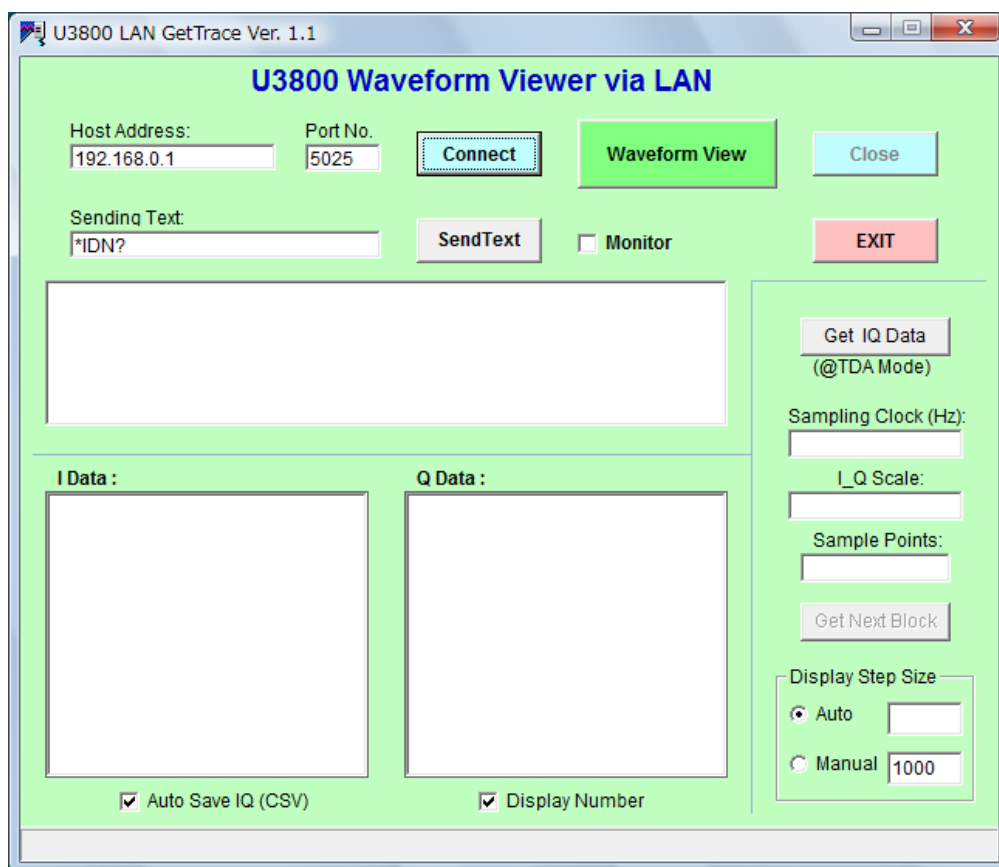
5 . サンプル・ソフトウェアを起動します。

スタート - プログラム - U3800 LAN GetTrace - LAN GetTrace を実行します。

スペアナの IP アドレスを設定します。（初期値 192.168.0.1）（Port No.は 5025 です）

（スペアナも初期値を使用の場合は入力不要です）

この例では LAN 経由で、10.77.151.115 を使用しますので入力します。



Connect を押し、接続します。

接続が完了すると、図の表示エリアに接続メッセージが表示されます。

Sending Text 欄に、 GPIB コマンドを書き、スペアナに送ることが出来ます。

たとえば、PS を送ると、マーカがレベルのピーク点に表示されます。

（ Monitor をチェックしておきますと、通信 LOG が表示されます）

（ただし、Waveform View を選択する前には、チェックを外して下さい）

U3800 LAN GetTrace Ver. 1.1

U3800 Waveform Viewer via LAN

Host Address: Port No.

Sending Text: ☐ Monitor

10.77.151.115-->INIT(000):Connected to FUS.

I Data :

☒ Auto Save IQ (CSV)

Q Data :

☒ Display Number

Sampling Clock (Hz):

I_Q Scale:

Sample Points:

Display Step Size

☒ Auto

☐ Manual

Connected with 10.77.151.115:5025

クエリー・コマンド（MFL?等）を送ると、データが取得できます。

U3800 LAN GetTrace Ver. 1.1

U3800 Waveform Viewer via LAN

Host Address: Port No.

Sending Text: ☒ Monitor

10.77.151.115-->INIT(000):Connected to FUS.
 10.77.151.115<--REN
 10.77.151.115<--PS
 10.77.151.115<--REN
 10.77.151.115<--MFL?
 10.77.151.115-->2.000000000000e+07,-2.339310837e+01

I Data :

☒ Auto Save IQ (CSV)

Q Data :

☒ Display Number

Sampling Clock (Hz):

I_Q Scale:

Sample Points:

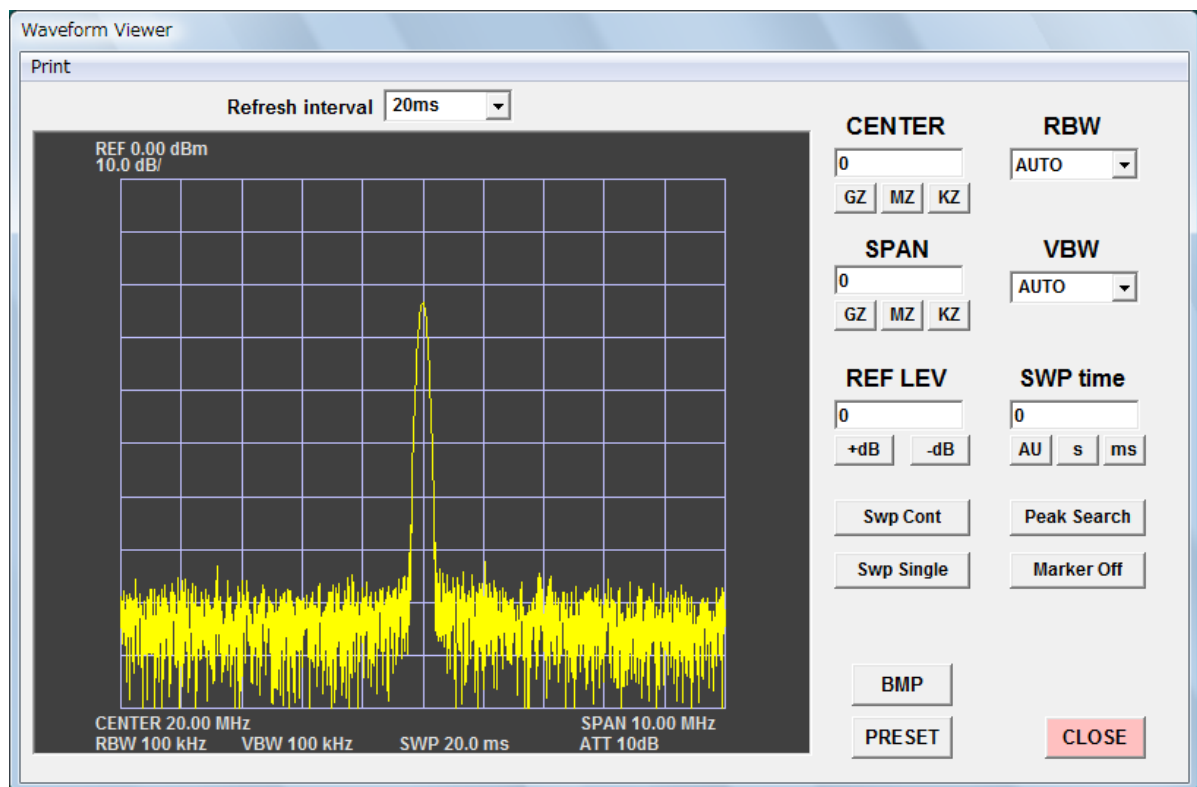
Display Step Size

☒ Auto

☐ Manual

Connected with 10.77.151.115:5025

- 6 . **Waveform View** を押すと波形が見られます。
（ Monitor はチェックを外して下さい。 LOG 表示のため波形表示が遅くなります ）



幾つかのパラメータは、この画面で設定できます。（それ以外は事前に設定しておきます）
（Center, Span, Ref, RBW, VBW, Sweep Time...）

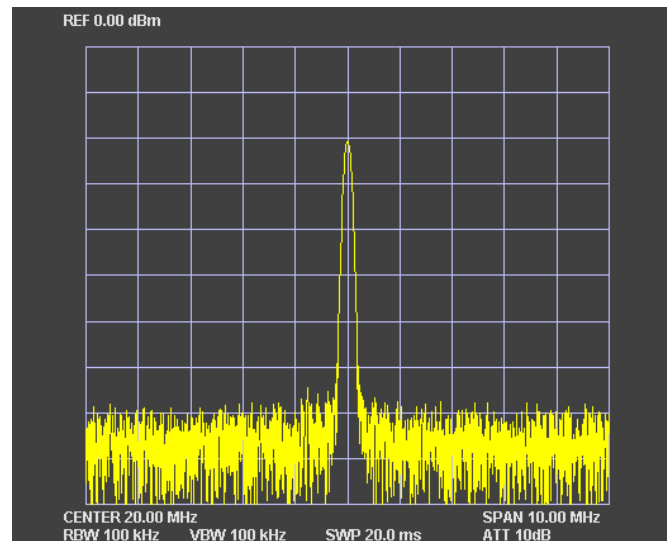
このパネル以外の設定を行いたい場合は、一度 CLOSE で最初の画面に戻ります。

- 1 . Send Text モードを使い、 GPIB コマンドを送り設定します。その後、Waveform View を押し、再度画面表示を行わせます。
- 2 . GPIB コマンドが手元にない場合や、手動操作のほうが、細かい調整ができる場合は、さらに最初の画面の CLOSE で接続を切断しスペアナを操作します。その後、Connect から、再度画面表示を開始させます。

PRESET はスペアナのリセットです。

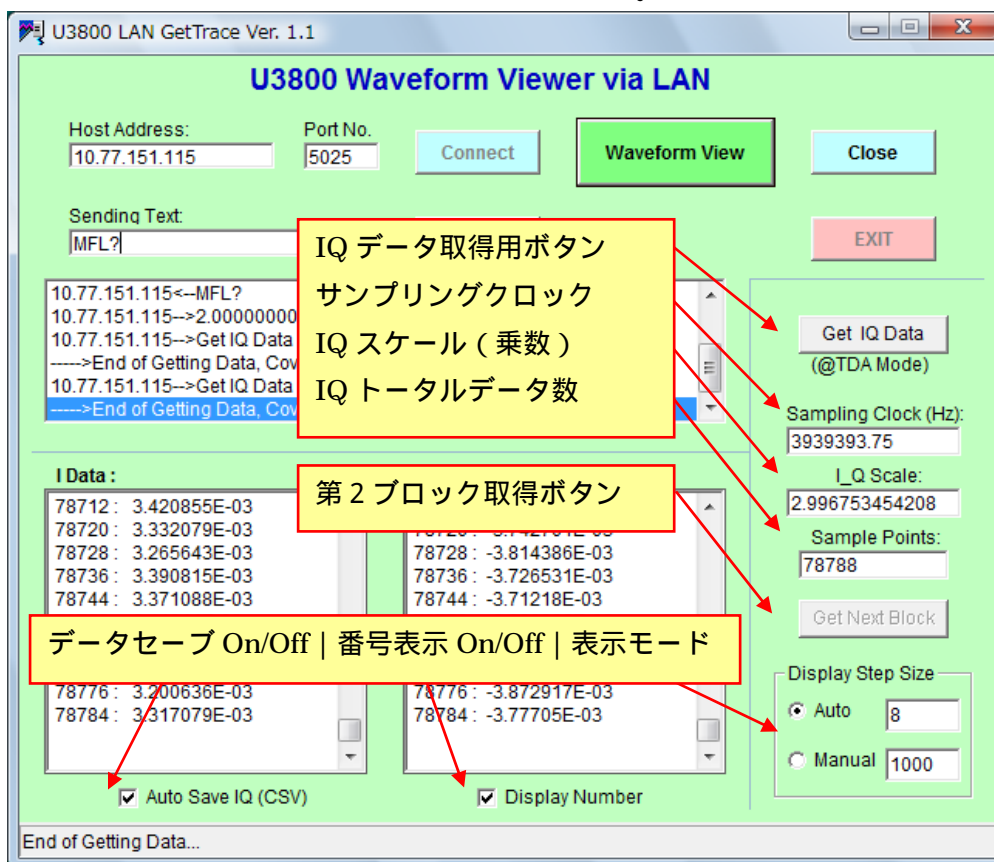
BMP はパソコンにこの画面のビットマップファイルを作成することが出来ます。

BMP ファイルの例



7. IQデータ取得の例

スペアナ本体が Time Domain 解析モードのとき IQ データの取得ができます。
 (一般にスペアナ・パネルキー MEAS1 で Spectrum Analyzer 以外のモード)
 (IQ データは、本プログラムが存在する Directory にセーブされます)



8 . 終了

Waveform Viewer で波形を見ている場合は Close で初期画面に戻ります。

初期画面の CLOSE で LAN 接続を切断する。

初期画面の EXIT でプログラムを終了する。

The screenshot shows the 'U3800 Waveform Viewer via LAN' window. The title bar reads 'U3800 LAN GetTrace Ver. 1.1'. The main area has a light green background. At the top, there are input fields for 'Host Address:' (10.77.151.115) and 'Port No.' (5025), followed by 'Connect', 'Waveform View' (highlighted in green), and 'Close' buttons. Below these are 'Sending Text:' (*IDN?), 'SendText', and a 'Monitor' checkbox. A text box displays '10.77.151.115-->INIT(000):Connected to FUS.'. On the right, there are buttons for 'Get IQ Data (@TDA Mode)', 'Sampling Clock (Hz):', 'I_Q Scale:', 'Sample Points:', 'Get Next Block', and a 'Display Step Size' section with 'Auto' (selected) and 'Manual' (1000) options. At the bottom, there are checkboxes for 'Auto Save IQ (CSV)' and 'Display Number'. A status bar at the very bottom says 'Connected with 10.77.151.115:5025'.